

定期報告対象建築物及び特定建築設備等の報告時期

長野県建設部 建築住宅課

□ 建築物



令和6年度対象

対象用途	報告周期	報告始期	
		H29	H30
劇場、映画館又は演芸場	2年	■	■
観覧場(屋外観覧場は除く)、公会堂又は集会場	2年	■	■
病院、有床診療所、養老院等	2年	■	■
児童福祉施設等	2年	■	■
ホテル、旅館	2年	■	■
共同住宅、寄宿舎※ ※高齢者、障害者等の就寝の用途に限る	2年	■	■
学校(付属する体育館を含む)	3年	■	■
体育館、ボウリング場、スキー場、スケート場、水泳場、スポーツの練習場	3年	■	■
博物館、美術館、図書館	3年	■	■
百貨店、マーケット、展示場、物品販売業を営む店舗	2年	■	■
キャバレー、カフェー、ナイトクラブ、バー、ダンスホール、遊技場、公衆浴場、待合、料理店、飲食店	2年	■	■
事務所	3年	■	■

報告年度					
R4	R5	R6	R7	R8	R9
	■		■		■
	■		■		■
	■		■		■
	■		■		■
■		■		■	
	■		■		■
	■		■		■
	■		■		■
■		■		■	
■		■		■	
	■		■		■

\* 建築物を新築又は改築(一部の改築を除く)した場合で建築基準法に基づく検査済証が交付された場合は、その直後の時期の報告は免除されます。(建築基準法施行規則第5条第1項)

報告時期(周期) ■ (1年) ■ (2年) ■ (3年)

□ 特定建築設備等

種別	報告周期	報告始期	
		H29	H30
昇降機	1年	■	■
昇降機以外の建築設備	1年	■	■
防火設備	1年	■	■
準用工作物	1年	■	■

報告年度					
R4	R5	R6	R7	R8	R9
■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■

\* 昇降機、建築設備等及び準用工作物を新たに設置した場合で、建築基準法に基づく検査済証が交付された場合は、その直後の時期の報告は免除されます。(建築基準法施行規則第6条第1項及び第6条の2の2第1項)